

秦野市

～外国につながる児童・生徒の指導・支援体制～

【現在の取り組み】

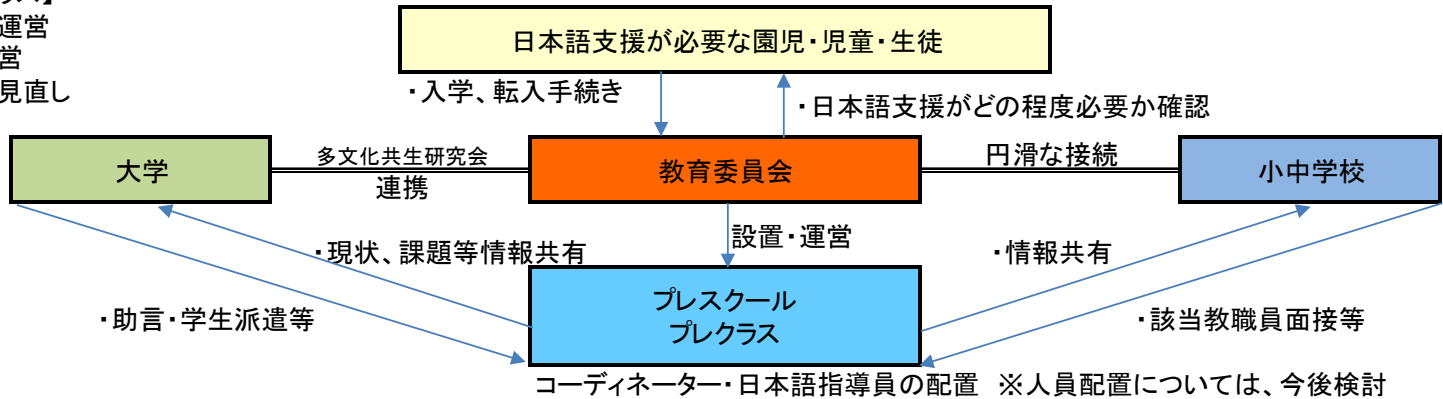


大学より、学生の派遣(日本語・教科学習支援ボランティア)
(令和7年度 26名大学生が参加 小中学校12校 週1回午前中2時間の支援)

●日本語指導協力者連絡会(教育委員会、小中学校、大学、日本語指導協力者) 4月:本事業の内容説明、「特別的教育課程」による日本語指導について 日本語指導協力者訪問予定の日程調整、大学生派遣について	教育委員会 小中学校 大学 関係職員 参加	●国際教育研修会(教育委員会、小中学校、大学、日本語指導協力者) 5月、10月:大学教授による講演、指導実践と見直しについての意見交換
●外国につながる児童生徒等への支援に係る研修会(年1回)中学校区で実施		●外国人新入学児童生徒保護者説明会(年1回 1月)

【プレスクール・プレクラス】

- ・令和5年度 試験的運営
- ・令和6年度 本格運営
- ・令和7年度 運営の見直し
- ・令和8年度 運営



【期待される成果】

連絡会、担当者会	大学教授による専門的な知識や最新事例、学校間での情報交換により、指導方法改善につなげることができる。
日本語指導協力者派遣	該当児童・生徒及び保護者が、学業をはじめ学校生活に必要なことや卒業後の進路等理解を深めることができる。
ICT機器の活用	該当児童・生徒、教職員とのコミュニケーションをより円滑にすることができる。 多言語で配信されている動画教材を使用することで学力向上につなげることができる。
大学生の派遣	日本語習得・学校生活の支援により、該当児童・生徒がより良い学校生活を送ることができる。
プレスクール・プレクラス	該当児童・生徒、保護者の精神的負担や、早い段階から学校生活に慣れることができる。 日本人の教職員、児童・生徒にとっても受入れが容易となり、円滑な学校接続ができる。